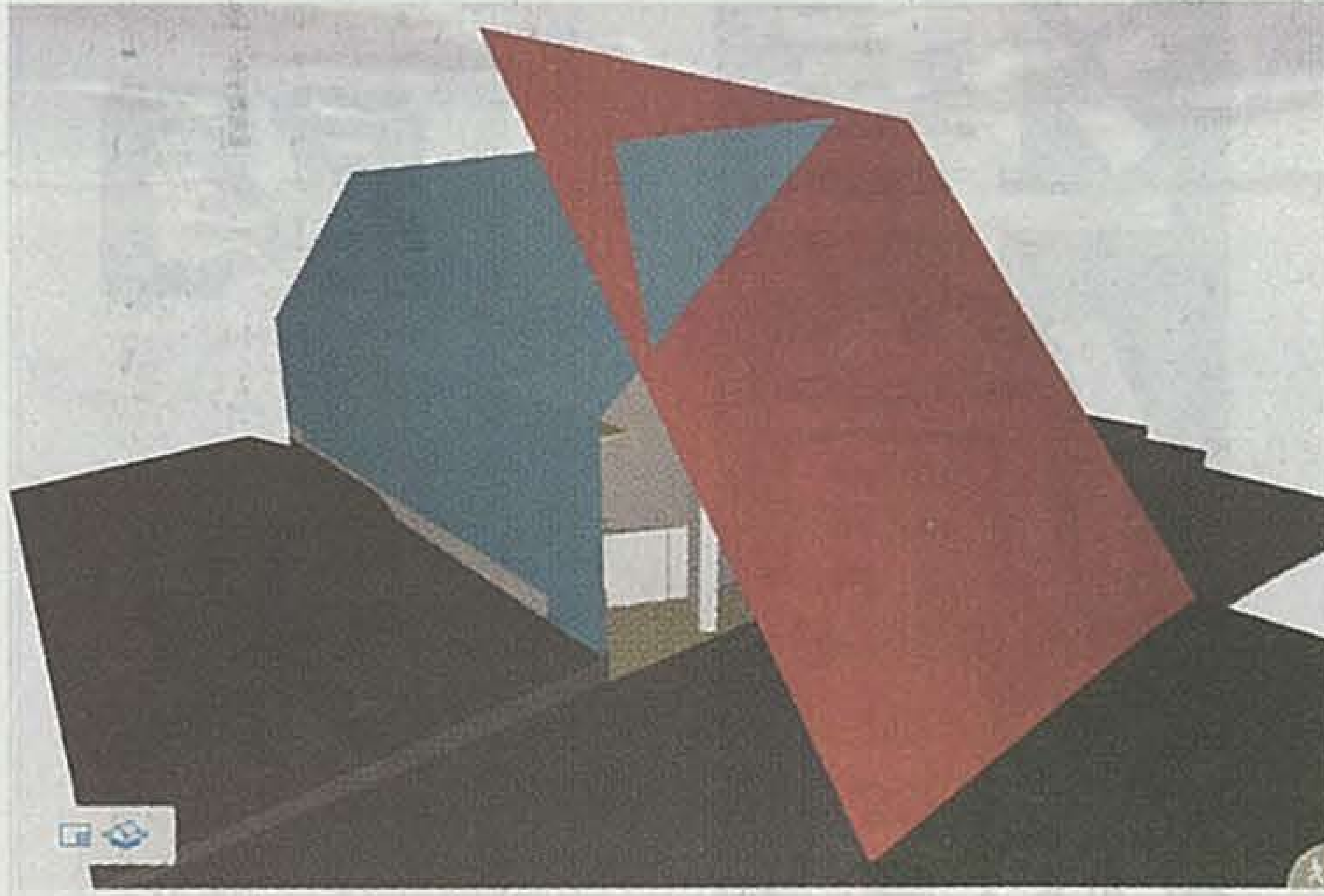


長期ビジョン「CLAVIS」では、営業力の強化として拡一模約75<sup>メ</sup>ガワのバイオマス発電一を目指す。

一どを地元関係者の協力を得

# BIMビューアで電子申請

## 3Dモデルの活用拡大に期待



斜線規制(BIMxデータ)

アーネストアーキテクトと日本ERI、大塚商会、グラフィソフトジャパンは、BIMソフト「ARCHICAD」とBIMビューア「BIMx」を使った電子申請で、RC造戸建て住宅の確認済証の交付を受けた。BIMモデルで申請から確認済証交付までやり取りしたこと、将来的には、整合性が担保できる3Dモデルのさらなる活用による審査期間の短縮が期待される。

今回の取り組みでは、アー

### アーネストアーキテクトら

ネストアーキテクトがBIMモデル確認申請用図書作成マニュアルを作成。ARCHICADで作成したモデルデータを改ざんできない情報にするためBIMxデータに変換し、道路からの斜線規制範囲や建物の形状を3Dでビジュアル化して審査に活用した。日本ERIとは、クラウド上で共有した。アーネストアーキテクトが確認申請用図書の作成期間を短縮できたほか、日本ERIも電子申請受付WEBシステムを通じた電子申請で確認済証を交付できた。

大塚商会は確認申請におけるBIMワークフロー、グラフィソフトジャパンがワークフローのノウハウと技術支援を担当した。今後、建具オブジェクト情報を使って採光・換気・排煙計算の簡略化を検討する。今回の取り組みで得られたノウハウは、参加企業が共同でマニュアルとしてまとめ、講演活動などで公開する。

### 戸建て確認済証を交付